



2022年2月8日

各位

会社名 株式会社FHT ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
 (コード: 3777、JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸
 (TEL. 03-6261-0081)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、昨年2月15日付「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしましたとおり、2021年12月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただいておりましたが、当社は本日開催の取締役会において最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期の連結業績予想の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	263	△152	△157	261	1.43
増減額(B - A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2020年12月期)	354	△269	△277	△1,761	△12.71

2. 修正の理由

当社グループの中国におけるヘルスケア事業の撤退に伴い、撤退等の影響を踏まえた業績予想の合理的な算定が困難であることから2021年12月期の連結業績予想を未定とさせていただいておりましたが、合理的に算定できる環境になったことから、2021年12月期通期業績予想値を公表することといたしました。

なお、本業績予想の売上高が前期連結実績(2020年12月期)を下回る予測値とした主な原因は、当社グループの再生可能エネルギー事業について、太陽光発電所の譲渡案件規模が減少したためであります。本業績予想の営業利益、経常利益につきましては、当社グループの中国におけるヘルスケア事業を撤退したことが主な要因として、前期連結実績と比較すると改善されましたが、売上減により営業損失、経常損失を予想値としております。本業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2021年8月13日付「特別利益計上に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、子会社売却益 322 百万円、貸倒引当金戻入額 50 百万円を主な要因として、前期連結実績と比較すると改善した予想値としております。

ご注意： 本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以上

【別紙】

[主要諸元（通期）：セグメント毎の売上・利益予測値]

単位：百万円

セグメント	売上高予測値	利益予測値	前期売上高実績
IT 関連事業	81	29	73
環境事業	93	△4	92
再生可能エネルギー事業	89	7	154